

平成21年度貸借対照表について



貸借対照表の意義

貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、一定の時点において水道局が保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表示した報告書です。資産の合計額が負債と資本の合計額と一致することから通称「バランスシート」とも呼ばれています。

貸借対照表の区分

貸借対照表は、資産の部、負債の部及び資本の部の三区分に分かれ、さらに資産の部を固定資産、流動資産に、負債の部を固定負債及び流動負債に、資本の部は資本金及び剰余金に区分されています。

平成21年度貸借対照表

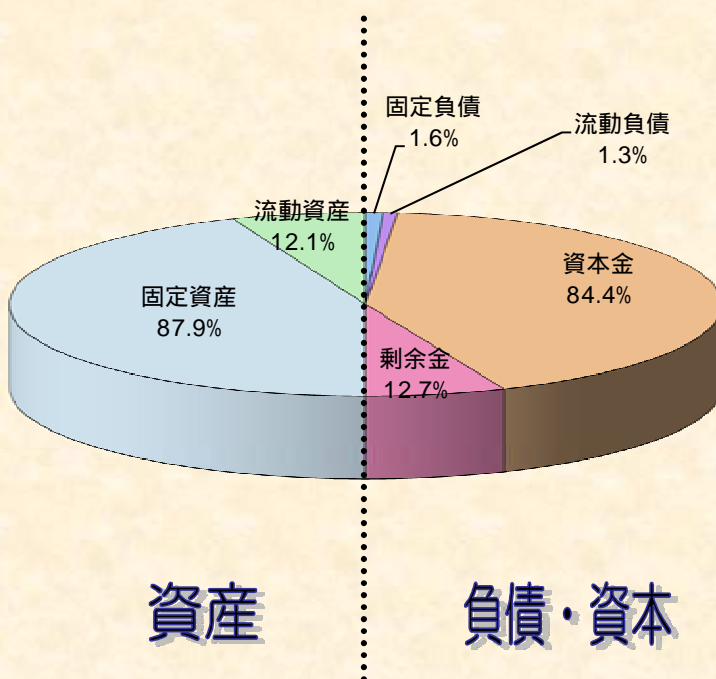
資産の部	
固定資産	55,777,590,027 円
流動資産	7,709,394,563 円
資産合計	63,486,984,590 円

負債の部	
固定負債	996,718,872 円
流動負債	861,960,457 円
負債合計	1,858,679,329 円

資本の部	
資本金	53,574,209,284 円
剰余金	8,054,095,977 円
資本合計	61,628,305,261 円

負債・資本合計	63,486,984,590 円
----------------	-------------------------

平成21年度貸借対照表をグラフ化



資産の合計額と一致する。